

Communication Media クリエーション :CITIZEN's FA View, Autumn 2010

# CREATION

No. 10

## Cincom Innovation

Cincom 80<sup>th</sup> Miyano  
ANNIVERSARY

## Miyano Innovation

**CITIZEN**  
Micro HumanTech



# 2011年4月、 シチズンマシナリーミヤノ株式会社 が誕生します。

## 21世紀が求めるソリューションを 実現する、 シチズンマシナリーミヤノ株式会社

シチズンマシナリー株式会社と株式会社ミヤノは、2011年4月1日に合併し、「シチズンマシナリーミヤノ株式会社」として新たにスタートします。両社は2007年1月の資本業務提携契約締結以来、各分野での協業を通じて相互の理解と信頼を深め、両社がこれまで長年培ってきた技術力、サービス力の融合をはかってまいりました。

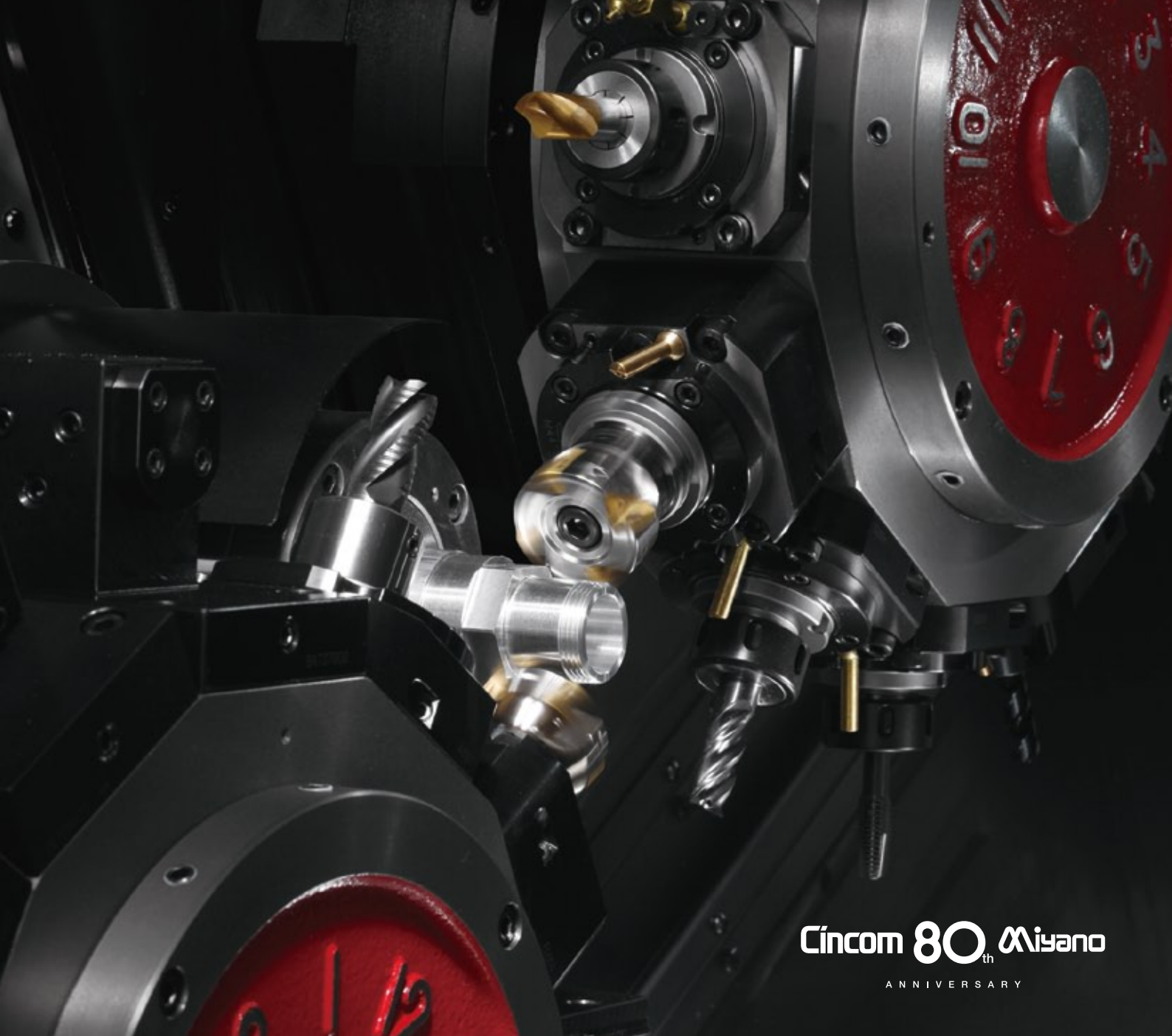
今後は両社の総合力を結集し、製品ラインアップのいっそうの充実ならびにお客様へのサービス対応のさらなる強化をはかっていくと同時に、激しく変化する市場環境のなかでお客様のモノづくりの革新をと

もに実現していくパートナーとして、新たなソリューションを開発し提供させていただくことが、私たちの第一の使命であると考えています。

私たちは、この使命を実現するビジョンとして“従来のモノ作りによる価値提供にとどまらない、21世紀の社会が求める生産システムへの革新を実現する、トータル・ソリューションをお客様に提供する”を掲げます。

## シチズンは、 日本のモノづくりとともにあります。

日本のモノづくりと、その感性の永続は、現在グローバルに広がるモノづくりの源流として常に活力を持っていなければならないとシチズンは考えます。



Cincom 80<sup>th</sup> Miyano  
ANNIVERSARY

産業革命以来、約200年の歴史を持つ工場制機械工業の完成度を究極と言えるほどに向上させ、地球規模での産業の発展をもたらす大河を生み出したのは、日本のモノづくりです。21世紀を迎え、地球環境への配慮の必要性や中国の大きな発展とともに、モノづくりへの価値観や、進歩の流れの方向が大きく変化しようとしています。しかし、源流が枯渇した進歩や発展などあるはずありません。シチズンマシナリーミヤノは、この変化の方向をとらえ、チャレンジ精神を持って活力ある源流の永続に貢献し続けます。日本人が生み出す「品質」は、工学的な理論やマニュアルだけで生まれているわけではありません。これに日本の風土と文化に根ざした感性が加わることでより誰にも負けない「確かさという、品質」が生まれるのです。シチズンは、この「確かさ」を追求します。

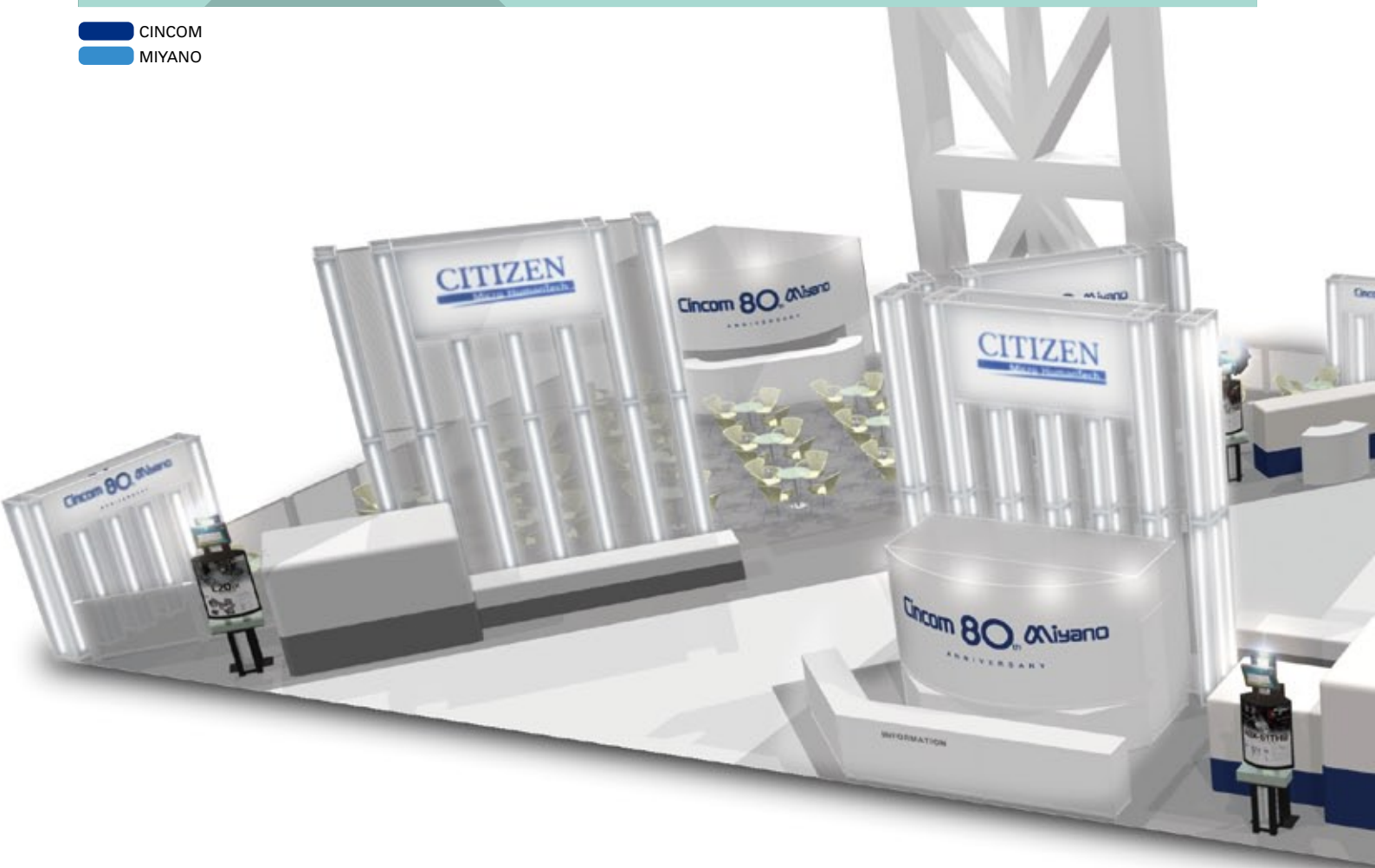
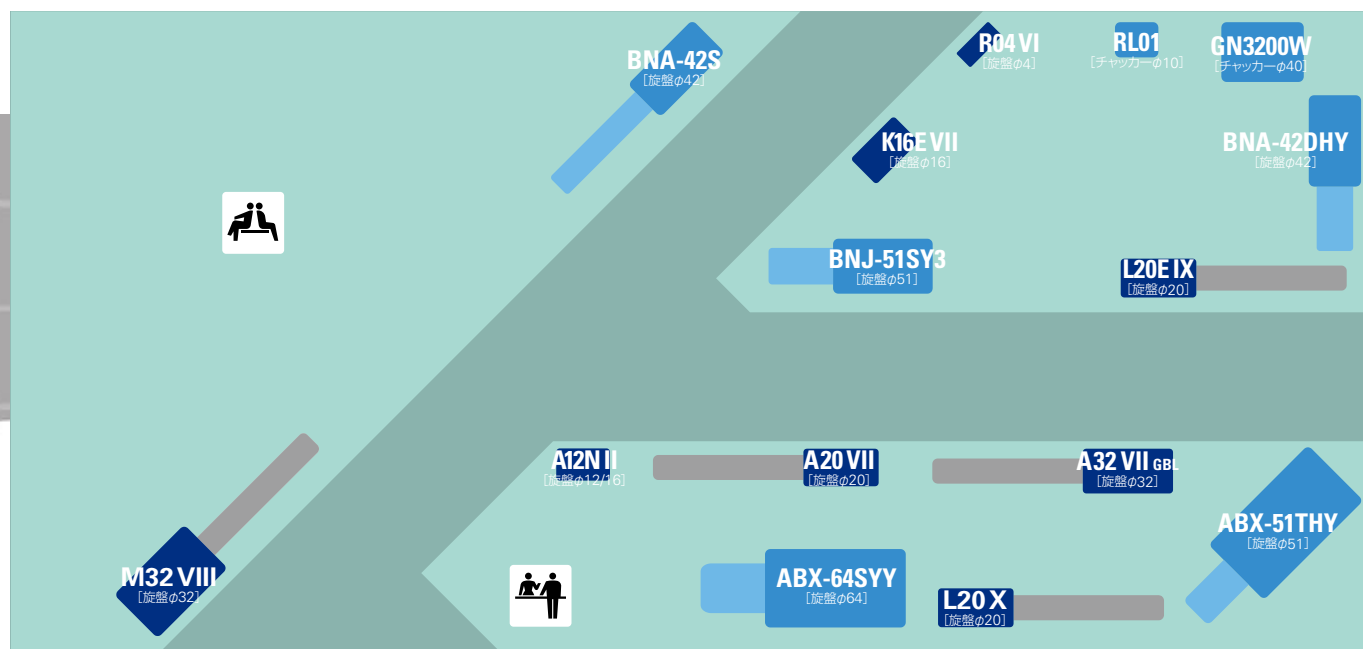
**日本のモノづくりの強さ。  
それは、日本人の感性が生み出す  
「確かさという、品質」。**

「確かさ」は、熟練した日本のモノづくりのなかでは無意識に生まれています。これは、工学的な数字での表現や管理を超えて、モノづくりに「あんしん」や「信頼」という確かな価値をも含ませた、21世紀の新しい完成度の概念です。

シチズンマシナリーミヤノは、新しい時代にふさわしい「確かさという、品質」へと、その価値と完成度を高めようとしています。もちろん、私たちは、この「確かさ」を概念にとどめることはしません。私たちの掲げるビジョンの具体的な成果として、グローバルのお客様にトータル・ソリューションをお届けします。

# JIMTOF 2010—未来への予見。

さらに強固に結びついたシチズンとミヤノが、共通のコンセプトで発信するエボリューション & イノベーションの数々をご覧ください。



## 広がる未来—「進化」と「革新」

Cincom、Miyano、Ocean Cincomの3つのプロダクト・ブランドから成るシチズンマシナリーミヤノは、各プロダクト共通のビジョンを達成する第一歩をJIMTOF2010に刻みます。その一つが、すでにCincom L20E、K16E、MiyanoBNAシリーズ、BNJシリーズでみなさまに高いご評価をいただいておりますEvolution Lineです。そしてJIMTOF2010では、新たにInnovation Lineを提案いたします。

Cincom & Miyano Innovation Lineのメイン・スペックは、単純に数字で示せる仕様や機能・性能ではありません。既存の製品をベースにEvolutionの達成を前提とし、今、あるいは将来に渡りお客様がいただく課題を明らかにして、より高い次元でその解決手段、すなわちソリューションを具体的に提案します。そのソリューションは、お客様が新しい技術を発揮できる環境を創造し、お客様の工場経営や、社員のみなさまのイマジネーションをも活性化させ「革新」と呼ぶにふさわしい、21世紀が求める生産システムの実現につながるのです。

シチズンマシナリーミヤノの3つの技術力をお客様の“今”の課題解決と、“将来”の生産システム改革に収束します。

シチズンマシナリーミヤノは、3つのプロダクト・ブランドが培ってきた高い技術力の進歩の方向を、お客様のいかに多くの課題解決と、21世紀が求める生産システムへの革新に定め収束します。

JIMTOF2010では、新製品とともに、「ソリューション・パネル」を用意しました。これは、お客様のいかに課題の解決に、私たちの技術がどのように貢献できるのかを示しています。また、その一方で、3つのプロダクト・ブランドの進歩の方向が、お客様へのソリューションの提供に向かっていることを、私たち自身が確認する目的もあります。この「ソリューション・パネル」を通して、お客様とのコミュニケーションを深め、“今”のみならず“将来”の革新に向けた提案を実現します。

JIMTOF2010では、2011年4月1日に誕生する、シチズンマシナリーミヤノ株式会社が挑む、21世紀が求める生産システムへの改革の第一歩にご期待ください。



# 自らがビジョンを持ち新たな環境を創造

## Cincom Innovation

Miya

単なるモノづくりによる価値提供にとどまらず、お客様が生産システムの革新を実現する手助けとなるトータルソリューションの提案を。「新・モノづくり企業」へと自らを変革する第一歩となる製品ラインアップが、シンコムイノベーションラインです。その第1弾として、ベストセラー機LシリーズにY2軸を新たに搭載して、くし刃と対向刃物台による同時加工を可能にするL20 Xを開発。さらに第2弾として、くし刃+タレットの構成で複合加工のスタンダードマシンとして定評のあるMシリーズに、稼動軸を2軸追加して10軸加工機としたVIII型をはじめとするM32シリーズをラインアップしました。

### Y2軸を新たに搭載したL20 X

#### 6軸加工機への革新<Innovation>

新たにY2軸を搭載して6軸加工機へと革新<Innovation>したL20 X型。対向刃物台は2段構成でツール取付本数6本、背面刃物台8本のうち、上側4本は回転工具仕様となっています。標準で背面回転工具駆動装置を搭載。背面クロス穴あけやスリ割加工にも対応可能です。

#### 最大ツール取付本数39本、多彩なツーリングで複雑形状に対応

Y2軸搭載により、対向刃物台と背面刃物台のツール取付本数が倍増。最大取付本数は、くし刃刃物台25本、対向刃物台6本、背面刃物台8本が可能です。ツーリングも、端面回転工具やクロス回転工具がさらに充実、複雑形状の加工にも柔軟に対応できます。

#### 正面でくし刃と対向刃物台の同時加工、正面・背面の工程分割でサイクルタイムを短縮

くし刃刃物台と対向刃物台によるピンチターニングや、くし刃刃物台とオプションの対向刃物台によるピンチミーリングの同時加工で、正面側加工のサイクルタイムを削減。また、背面刃物台の工具取付本数が8本に増加、くし刃刃物台で行っていた加工を背面刃物台で行うことができ、工程分割によりサイクルタイムを削減します。

#### 使い慣れた操作性を継承、充実した機能を標準装備

機内照明、可動式操作盤、NCプログラム入出力など、従来の操作性を継承。背面主軸冷却装置、切粉受箱、製品回収システムも標準装備しています。

### くし刃+タレットの構成を継承する新M32シリーズ

#### 稼動軸最大10軸(VIII型)、複合・複雑加工性能を大幅にアップ

くし刃刃物台と正面主軸が4軸(VIII型にB軸を追加)、タレット刃物台が3軸、背面刃物台が1軸(背面刃物台の稼動軸が追加)、背面主軸が2軸の構成で、VIII型ではB軸搭載の工具とあわせて、複合・複雑加工性能を大幅に向上。B軸、背面刃物台の稼動軸追加により、従来マシニングセンタなどでしか加工ができなかった複雑加工形状にも対応、B軸による複数角度の斜め穴加工やヘリカル補間加工、コンタリング(輪郭)加工も可能です。

#### B軸をVIII型に標準装備、多彩な加工ニーズに対応

くし刃回転工具の1つにB軸を搭載(VIII型標準)。Y軸に対する傾斜軸の斜め穴あけ加工などにもリニアに可変対応。複数の角度を持つ斜め穴加工やヘリカル補間加工にも柔軟に対応します。また、長手方向の指令だけで斜め穴の加工を実現。コンタリング(輪郭)加工機能では球面に連続して直角にドリルを当てるミーリング加工、くし刃刃物台の回転工具とB軸ユニットとの組み合わせでホブやスレッドワーリングなどのスピンドルも取付可能です。

#### アイドルタイムを30%削減、操作性、環境配慮機能も充実

最新NCによる高速演算処理やシンコムコントロールなどにより、非切削時間を従来機比30%削減、サイクルタイムを大幅に短縮しています。運転準備機能や実機チェック機能、干渉チェック機能はもちろん、画面描画の高速化や加工プログラム作成時の文法チェック機能、プログラムエラー特定機能など操作性も充実。環境面では、省エネ・省資源化に配慮し、再資源化可能材料の使用率アップ、RoHS指令に基づく有害物質の除去など環境配慮形製品となっています。●



# 造ること—それが「革新」。

## no Innovation

ミヤノイノベーションライン第1弾として、ABX-51SYY/64SYYとBNA-34DHY/42DHYをラインアップ。市場環境の激しい変化のなかで、お客様がさらに発展的で効率的な独自の加工環境や生産システムを生み出し、構築していただけるような製品を。ミヤノからの提案です。

### 左右同能カスピンダル+Y軸付き2タレット マルチタスキング複合NC旋盤 ABX-51SYY/64SYY

#### 2基のY軸付きタレット、懐の大きいツーリングエリア

ABX-51SYY/64SYYは、2スピンドル3タレットのABX-51THY/64THYに続き、ミヤノフラッグシップシリーズに新たに追加された2スピンドル2タレットマシン。完品加工における高生産性を追及し、操作性や作業効率にも配慮したモデルです。左右同能カスピンダル(51SYY機)と2基のY軸付きタレットによる高能率をはじめ、熱変位補正技術による高精度、懐の大きいツーリングエリアによる良好な作業性などを高い次元で達成しています。

#### 上下2基のY軸付きタレットが左右スピンドルに自由にアプローチ

剛性や熱変位精度を重視したABX-THYの基本思想・構造を継承し、クラストップの高精度加工を実現します。また、上下2基のY軸付きタレットが、左右両方のスピンドルに対し自由にアプローチすることで、制約の少ない最適なツーリングが可能です。

#### 最大24ステーションに高出力回転工具を取付け可能

最大24ステーションに取付け可能な回転工具は、40Nmの高出力を誇り、切削能力の向上によるサイクルタイムの大幅短縮が可能です。価格を抑え、自動車、建機、継手、航空機、医療など、様々な分野への多品種少量複合加工に最適なモデルとなっています。

### 省スペース・2スピンドル2タレットの 高精度複合加工、 NC旋盤量産部品加工に最適な BNA-34DHY/42DHY

#### BNA-34S/42SをベースにY軸スライドと 6ステーションサブタレットを搭載

BNA-34DHY/42DHYは、昨年末に発売した2スピンドル1タレットBNA-34S/42Sをベースに、新たにY軸スライドと6ステーションのサブタレットを搭載した、より高度な複合加工を、高いスペース効率で実現するシリーズ上位モデルです。

#### 超省スペースで2スピンドル2タレット(Y軸付き)

設置面積3.26m<sup>2</sup>の超省スペースと、2スピンドル2タレット(Y軸付き)の高性能を両立。機内の熱配分にも考慮した変位の少ないベースにより、高精度を確保しております。

#### 8角メインタレットを継承、最大16ステーションにツール取付け可能

小回りの利く8角メインタレットは、ハーフ割出機構と新設計のツールホルダーにより、最大16ステーションにツールの取付けが可能。回転工具は、トルクロスの少ない単独駆動方式を採用し、8面すべてに取付けられます。また、X/Y軸移動により、回転工具を含め、タレット1面あたり4本の刃物が取付け可能、複雑な形状の加工にもツール不足を感じさせません。

#### 表裏同時加工によりサイクルタイムを大幅に短縮

2スピンドル2タレットの表裏同時加工による切削時間の短縮と、独自の制御技術による非切削時間の短縮により、BNA-S型比マイナス20%と大幅にサイクルタイムを短縮しました。自動車、建機、継手、弱電、医療などの量産部品加工に最適な全世界戦略モデルです。📍



# “自工程完結”という思想。 新たな生産システムの構築が、 ここでは、すでに始まっていた。

リコーエレメックス株式会社 様



愛知県岡崎市。長年培った精密加工技術をベースに、世界一のもの作り企業をめざすリコーエレメックス株式会社・岡崎事業所に伺い、同事業所の中核を担う鈴木常務、夏目副事業部長、古瀬部長にお話しいただいた。

## 精密加工技術を核に技術力・ 品質管理力を強化

リコーエレメックス(株)の守備範囲は広い。1938年(昭和13)、会社設立時の出発点は軍需用の砲弾信管の製造だが、それ以前、創業者による掛時計などの精密加工技術が原点という。戦後は水道メータ・ガスメータなどの計量・計測機器、そして腕時計の生産と精密加工技術の分野で自らの技術特性に磨きをかけてきた。

1959年(昭和34)の伊勢湾台風で工場が

壊滅的なダメージを受けた3年後、リコーグループの一員として再生。以後、技術力の強化と高精度の品質管理を実現してきた。さらに、時代のニーズに対応し、岡崎事業所を中心に、自動車部品をはじめ航空機部品・宇宙機器・原子炉部品など、最先端技術を支える精密加工部品・製品を生み出している。

## ずらりと並ぶシンコム

工場内に一歩足を踏み入ると、整然とレイアウトされた生産ラインの中で、ずらりと並ぶシンコムの姿に目を見張る。B12、M16、M32…。とりわけ目を引くのがミヤノ機GN-3200とM32でコンビネーションを組んだ生産ラインである。剛性のあるミヤノ機1台で前工程を行い、後工程は6台のM32に分散して仕上げまで行っている。

「このラインでは、ミヤノさんの機械の良さとシンコムの良さを両方とり入れているんです」と夏目副事業部長が説明してくれた。

「マシンを結ぶブリッジは、間を人が通れるように上方に配置してあります」。さらに「個々の部品が乗って流れるパレットにはICチップが埋め込まれていて、どの機械でいつ作業したのかわかるようになっていっているんですよ」。工程管理やトレーサビリティの確保もささぐである。

## 自工程完結という思想

鈴木常務は語る。「08年のリーマンショックは、いかに効率的な生産体制を築くか、ハードとソフト両面を一から見直す良いきっかけになったともいえます」。さらに続けて「当社では、ベルトコンベアによる生産ラインを見直し、自工程完結という思想に基づくラインへの切り換えを進めているんです」。製品の完成度は、すべての工程の完成度の積み上げととらえ、後工程へのシワ寄せを許さないシステムへの転換だと鈴木常務は言う。

「精密部品加工では、ツール1本1本による作業が1工程であるととらえて、この工程自体の最適性を検証するわけです」。

夏目副事業部長も言う。「精密部品加工では、各加工工程の完成度を見極めるポイント



ミヤノ機とM32でコンビネーションを組んだ生産ライン





**鈴木 将嗣 氏**  
リコーエレメックス株式会社  
取締役兼常務執行役員  
機器事業本部長  
兼 岡崎事業所長  
小さな部品は小さな機械で、  
そしていつでもどこでも稼動  
できて、ライン替えがあっても  
即対応できるような“デスクトップ  
ファクトリー”という試みにも  
取り組んでいます。生産性の  
フレキシビリティに対応する  
開発を…と。



**夏目 孝三 氏**  
リコーエレメックス株式会社  
機器事業本部  
精機事業部  
副事業部長  
兼務 部品ユニット部 部長  
Mシリーズは試金石。Mシリーズ  
を熟知していると後々活きてくる。  
Mシリーズクラスはある意味で  
何でもできるという感があります。  
ですから、何をやるかのアイデア  
を出していくのが肝心ですね。



**古瀬 真人 氏**  
リコーエレメックス株式会社  
機器事業本部  
特機事業部  
開発技術部長  
培ってきた精密加工技術と  
リコーグループのシミュレーショ  
ン解析技術や画像認識技術、  
画像処理技術を融合して、  
技術力や開発力の強化と高精度  
の品質管理を実践しています。

が工程によって異なります。ですから、その工程の『何を』チェックすべきなのか。刃物の磨耗なのか、工程をまたいでいる寸法なのか、簡潔に加工個数で良いのか、この見極めをする力が大事なのです」。

#### “匠”の技術と若い技術者を結ぶために

「その意味で」と鈴木常務。「当社では匠という認定制度がありまして、技能検定1級の資格をいくつも持つ最高レベルの技術者から若い世代への技術の伝承にも力を注いでいるんです」。

「ところが、匠のようなベテランの技術者はシャイな一面がありまして」と夏目副事業部長。「言葉で自分の感覚を主張するのが苦手な人が多いんですね」。

鈴木常務は言う。「そこで“準匠”という制度が必要になってくる。匠が感じ得ている感覚を、若い人たちに伝える通訳をしてくれる橋渡しの存在です。技術レベルでの認定制度は、社員の前向きで活気ある競い合いを生むメリットもあります」。

さらに「若い技術者が品質工学から導き出した工程と、匠が作り上げた工程をわかりやすい指標で評価する。時には若者が勝り、匠が刺激を受けることもあります」。

#### シンコムはワンチャックで初めから仕上げまで

同社では、1次加工を外注しているものもあるが、2次・3次以降の仕上げ工程を社内で行うというのが基本。「でも、シンコムでの加工は外注を使わず、1次加工から仕上げまで1台で行っています」と鈴木常務。「シンコムは多くの刃物を駆使して、ワンチャックで、スピーディーに複合加工が行えるので、製品回

取時にはバリレスで、しかも安定した品質が確保できます。ですからワンチャックに複合加工を加えた機械のメリットを痛感しますね」。

ミヤノの窪田氏も「掘み換えやチャック力による微妙な影響は、切粉の製品への付着や予期せぬ傷といった問題にもつながります。チャックシステムには大変気を使いますし、ミヤノは、そのノウハウを多く蓄積しています」。

#### 日本のモノづくりDNAを世界市場に

「いかに先読みするか」と夏目副事業部長は語る。「その技術が1年後、2年後に市場ニーズと一致するためには、どの位の精度や機能が最適かを模索し、研鑽する試みを進めています。工場が一番奥に導入後約30年のシンコムF16がある一画を、ASKWG(アスク ワーキンググループ)と呼んでいます。若いメンバーの発想や疑問を実際にあのF16で具体化する場なんです」。

最後に鈴木常務が語ってくれた言葉が印象的である。

「そういうところに、ベテランのノウハウと若いエネルギーを融合して集中する。お客様が示す技術的なトレンドを素直にとらえ、考えに考えて、課題の解決に没頭する。その研鑽や努力が、誰もまねのできない日本人のモノづくりの感性を生み出し、21世紀に通用する日本の技術の発展につながればと思うわけです」。

これは、どうしても夢中になってしまうというDNA。こういう日本のモノづくり魂のようなものが、同社には脈々と息づいている。

リコーエレメックス(株)を取材して感じたのは、私たちシチズンと同様、時計をかたちづくる極めて小さくかつ繊細で耐久性も要求される精密加工技術を一つの出发点とし、その技術を核に、他分野も含めたさまざまな技術革新の流れとともに新たに技術を生みだしてきたということである。まさに日本のモノづくりの歴史とともに生き、現在の経済状況や、国際的な市場状況の中で次代に向けて新たな模索をし、新たなビジョンを実行に移そうとする姿が印象的といえる。日本のモノづくりの強みを、いかに次代に活かすかの努力を続ける企業として、同志のような感慨を抱かすにはいられない。●



#### リコーエレメックス株式会社

本社 〒464-0075 名古屋千種区内山二丁目14番29号  
TEL 052-734-0301(代) FAX 052-734-0320  
岡崎事業所 〒444-8586 愛知県岡崎市井田町3-69  
TEL 0564-23-5111(代)  
代表者 代表取締役 社長執行役員 沢 光司  
創業の精神 人を愛し、国を愛し、勤めを愛す—三愛精神—  
設立 1938年(昭和13年)4月23日  
資本金 34億5,600万円(2010年3月31日現在)  
連結売上高 573億7,100万円(2010年3月期)  
連結社員数 2,463名(2010年3月31日現在、パートタイマーを除く)  
事業概要 複写機・情報機器事業、計量・計測機器事業、精密機器・部品事業  
特長 リコーグループの一翼を担い、長年培った精密加工技術を核にリコーグループの先進テクノロジーを融合、顧客満足はもとより感動を生む商品・サービスを提供。  
URL <http://www.ricohelemex.co.jp>

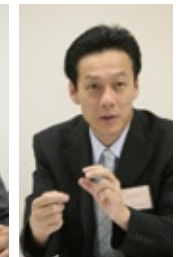
#### Interviewer



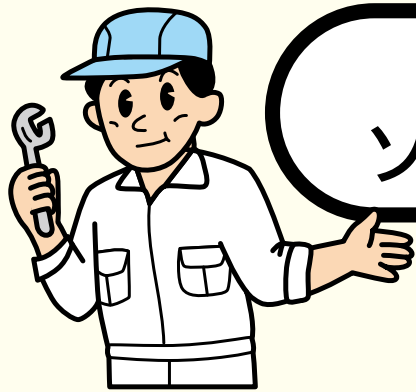
シチズンマシナリー(株)  
開発推進部  
部長 柳平 茂夫



シチズンマシナリー(株)  
マーケティング部  
部長 小松 英夫

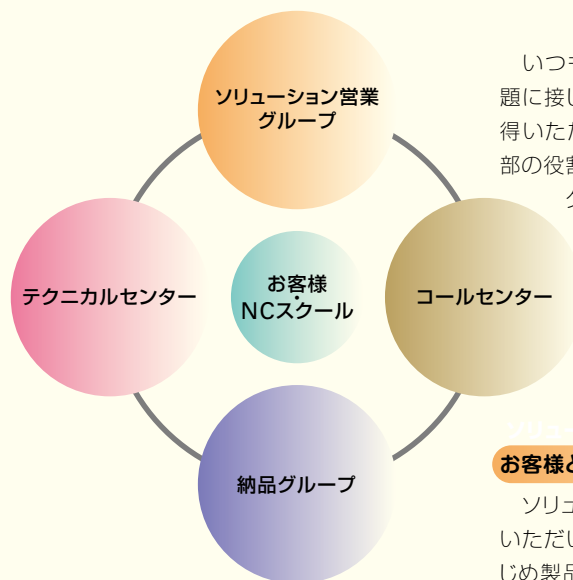


(株)ミヤノ  
営業本部 国内営業部  
部長 窪田 守



# 株式会社ミヤノ ソリューション営業部紹介

## お客様との接点として、 さまざまな問題を 速やかに解決。



いつもお客様との接点としてさまざまな問題に接し、解決策を速やかに提案・実行して納得いただけること。それがソリューション営業部の役割です。当営業部は「ソリューション営業グループ」「テクニカルセンター」「納品グループ」「コールセンター」の4グループで構成され、各営業担当や技術担当と連携して、最適なソリューションを最小限のロスタイムで提供できるよう日々努めています。

### お客様と営業マン、工場をつなぐパイプ役

ソリューション営業グループは、お客様からいただいた引き合いの技術的なサポートをはじめ製品プレゼンテーションなどを、地域営業と協力して行っています。営業と同行しての技術提案も行いながらお客様へより良い設備を提供しています。

### ベストな切削技術を提供

お客様の製品の加工にはどの機種が一番適しているかを決め、加工工程と刃物を検討し、



加工時間の算出を行います。また、チャック(パワーチャック、コレットチャック、フォーカーチャック、コンペチャック、他)の選定および設計についても提案。お客様の製品に安定した精度と性能を維持できるかが、この部署の切削技術に大きく関わっています。

### お客様の工場で操作指導、試運転、試切削も

お客様の工場で実際に納入機を動かして検証を行っています。ミヤノ製品はバー材加工用のNC旋盤が12タイプ、チャックワーク加工用のNC旋盤が3タイプ。それらをすべて動かせる技術と、難形状や難削材加工などのご要望にも応えられる工夫を盛り込み対応しています。より安定した加工工程の見直しなども行い、加工時間の短縮など、さらに満足していただける加工技術を提供。また、当部署が担当する試切削は機械を安心して購入していただくためのもの。時には、刃具寿命の確認のため500個の連続加工なども行い、多様にご要望にお応えしています。

### お客様の「困った!」に電話で即対応

プログラムが解らない、機械操作の問題、加



### ソリューション営業部 部長 佐藤 貴之 氏からのメッセージ

当部署のモットーは「断るな」です。難しい案件でもまずは、いかにできるかを考える。持っている知識、技術、他部門との連携、多層的な思考と技術の集約で必ずお客様に満足いただけるソリューションがあると確信しています。





工中の機械が停止などの問題解決を電話対応で行っています。時には、20年以上も前の機械の問合せもあり、当社製品を十分に把握した技術者が対応しています。たまに、問合せが集中し、即対応できない場合もありますが、いち早く問題を解決して機械を使っていただけることをモットーに日々努力しています。

#### NCスクールも開講

ミヤノ「大阪営業所」「名古屋営業所」「福島本社」でNCスクール(初級・中級)を実施しています。受講料は無料(移動、宿泊はお客様負担)、機械操作に不慣れなお客様も安心して使えるようサポートしています。講師はソリューション営業部員が担当、わかりやすく、覚えやすいをモットーに好評を得ています。●

## 目次

Contents

	02
<b>2011年4月、シチズンマシナリーミヤノ株式会社が誕生します。</b>	
JIMTOF 2010 へようこそ!	04
<b>JIMTOF 2010 — 未来への予見。</b>	
さらに強固に結びついたシチズンとミヤノが、共通のコンセプトで発信するエボリューション&イノベーションの数々をご覧ください。	
シチズンマシナリー・ミヤノ Innovation 対象機紹介	06
<b>Innovationとは、自らがビジョンを持ち新たな環境を創造すること—それが「革新」。</b>	
ユーザー企業「見てある記」第9回	08
<b>“自工程完結”という思想。新たな生産システムの構築が、ここでは、すでに始まっていた。</b>	
リコーエレメックス株式会社 様	
株式会社ミヤノ ソリューション営業部紹介	10
<b>お客様との接点として、さまざまな問題を速やかに解決。</b>	

## シチズンマシナリー・ミヤノ イベント情報

CITIZEN MACHINERY and MIYANO Event Information

- ◎JIMTOF 2010 (共催)  
日時:10月28日(木)~11月2日(火) / 場所:東京ビッグサイト(東京)
- ◎IMTEX 2011  
日時:2011年1月20日(木)~26日(水) / 場所:バンガロール(インド)
- ◎CIMT 2011 (共催)  
日時:2011年4月11日(月)~16日(土) / 場所:北京(中国)
- ◎CFA 80 (共催)  
日時:2011年5月(予定) / 場所:シチズンマシナリー株式会社 本社工場(長野)  
詳しい日程が決まり次第、別途ご案内申し上げます。ご期待下さい。

**CITIZEN**  
Micro HumanTech

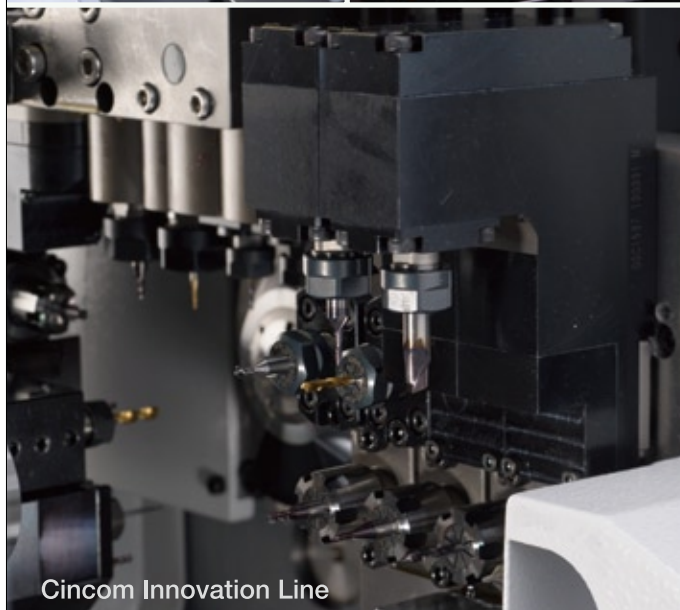
**Cincom 80<sup>th</sup> Miyano**  
ANNIVERSARY

# 広がる未来—「進化」と「革新」

環境の変化に、柔軟に対応すること。それが、「進化」— Evolution。

自らがビジョンを持ち、新たな環境を創造すること。それが、「革新」— Innovation。

シンコムとミヤノ。2つのブランドで展開するエボリューション&イノベーションラインが、お客様に最適なソリューションと活気あふれる未来をお届けします。



いきいきとした未来を実現するエボリューション&イノベーションの数々をご覧ください。

シチズンマシナリー株式会社 <http://cmj.citizen.co.jp/> 株式会社ミヤノ <http://www.miyano-jpn.co.jp/>

**JIMTOF 2010**  
小間番号: E3005, E3006

シチズンマシナリー株式会社と株式会社ミヤノは、2011年4月1日に合併し、「シチズンマシナリーミヤノ株式会社」として新たにスタートします。